



平成18年6月12日

各 位

住 所 石川県白山市福留町370番地  
会 社 名 株式会社ウイル・コーポレーション  
代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 若 林 和 芳  
役 職 氏 名  
(コード番号：7831 東証第二部)  
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 中 西 司  
電 話 番 号 03 - 3544 - 6238

### 平成18年10月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年4月14日に公表した平成18年10月期通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

1. 平成18年10月期連結業績予想の修正（平成17年11月1日～平成18年10月31日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 (A)	28,150	860	560
今 回 修 正 予 想 (B)	26,300	150	530
増 減 額 (B-A)	1,850	710	30
増 減 率 (%)	6.6	82.6	5.4
前 期 実 績	27,749	858	528

2. 平成18年10月期個別業績予想の修正（平成17年11月1日～平成18年10月31日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 (A)	28,150	970	690
今 回 修 正 予 想 (B)	26,300	260	650
増 減 額 (B-A)	1,850	710	40
増 減 率 (%)	6.6	73.2	5.8
前 期 実 績	27,749	683	435

### 3. 業績予想修正の理由

通期の売上高は、ダイレクト・マーケティング事業において、顧客ニーズに合致した新商品の積極的な投入と継続顧客の売上増大を図るため、次世代型CRM（カスタマー・リレーションシップ・マネジメント）システムの導入による顧客単位でのサービス・商品の提供体制を推進しておりますが、上半期からの新商品の開発遅れ等の影響により、引き続き既存の主力商品の落ち込みをカバーできず、前回予想を大幅に下回る見込みであります。

利益面では、ダイレクト・マーケティング事業における売上高の減少が主因となり、経常利益は前回予想の水準を大幅に下回る見込みであります。なお、特別利益につきましては、4月の訴訟解決に伴う和解金10億円により大幅に上回る見込みであります。

この結果、連結ならびに個別業績の売上高、経常利益、当期純利益とも前回発表予想を下回る見込みであります。

（注：個別業績予想には、連結子会社からの配当金 1.2億円が含まれております。）

#### 【業績予想に関する留意事項】

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上